パロマ

設置工事説明書　給湯リモコン

MC-126・MC-126V・MC-126D
MC-126VZ・MC-126DZ・MC-130V

工事される方へのおねがい

●このリモコンを正しく安全にお取り付けいただくために、この設置工事説明書をよくお読みになって、指定された工事を行ってください。
●条件をはずれた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内でも有料となります。
●リモコンケーブルを機器本体に接続する方法は、機器本体の設置工事説明書をご覧になって行ってください。

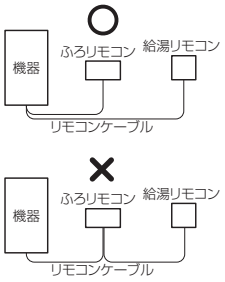
⚠ 注意

●適用器種以外には使用しないでください。また改造等はしないでください。
●浴室内や屋外には取り付けないでください。
●リモコンは段差のない壁に取り付けてください。
以上を守りませんと、リモコンが破損したり、機器が作動しないことがあります。

おねがい

●壁に貫通穴をあけるときは、壁内にある柱・鉄筋などの位置を確認して取り付け位置を決めてください。
●リモコンケーブルは2芯ケーブル線で、別売のケーブルを使用してください。
●リモコンケーブルの長さが20m以内になるように配線工事を行ってください。
●リモコンケーブルは、途中で中継してリモコンからリモコンへ配線しないでください。

接続概略図



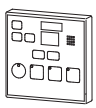
●ボイスリモコンとボイス&インターホンリモコン(※)のリモコン本体およびリモコンケーブルの配線は、強電流線(電流値の多いAC100V電線およびAC200V電線)や電化製品(電子レンジ・エアコン・蛍光灯およびモーターを使用している製品等)から1m以上離して取り付けてください。離さないと、スピーカーから雑音が出ることがあります。
●ボイス&インターホンリモコン(※)では、リモコン間の距離が近いとハウリング(キーンなどと音がする現象)を起こすことがあるのでご注意ください。
●リモコン取付後、リモコン表示部に保護シートがある場合は、はがして使用してください。
●工事が終わりましたら、試運転を必ず行い、機器が正常に運転することを確認し、機器本体に同梱されている取扱説明書に従ってお客様に使用方法を説明してください。

(※)リモコンの種類は、下表にて確認してください。

種類	品名
スタンダードリモコン	MC-126
ボイスリモコン	MC-126V·MC-126VZ·MC-130V
ボイス&インターホンリモコン	MC-126D·MC-126DZ

1　梱包部品の確認

リモコン本体



※トラスねじ1本
(ナイロンクランプ取付用)



木ねじ2本
(4×16)
(取付板取付用)



設置工事説明書
(本書)



※ナイロンクランプ
(大)1ヶ(小)1ヶ
(リモコンケーブル取付用)



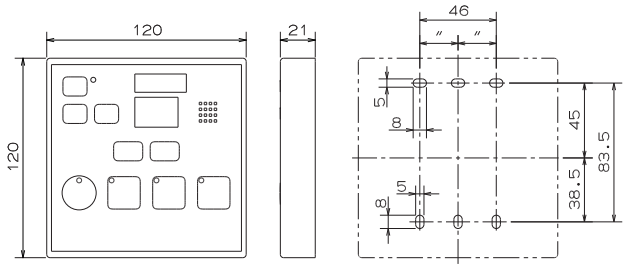
※簡単マニュアル(注)



※印の部品は、MC-130Vのみ付属されています。
(注)機器にリモコンを同梱している場合、
簡単マニュアルは付属されていません。



2　外形寸法図



※図はMC-126Dを示します。

〈取付板取付用寸法図〉　単位:mm

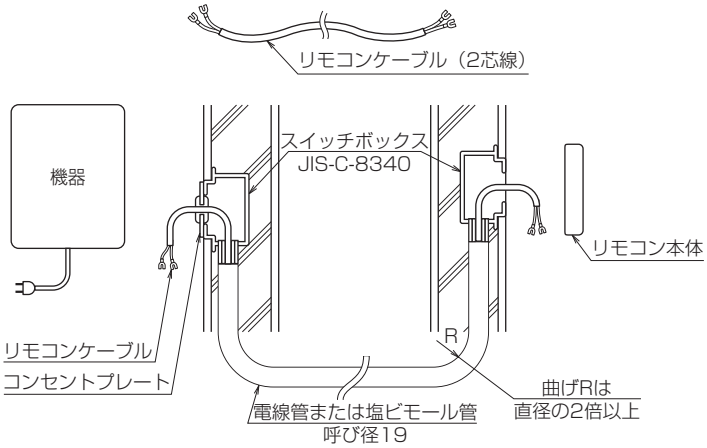
3　取付場所のご注意

⚠ 注意

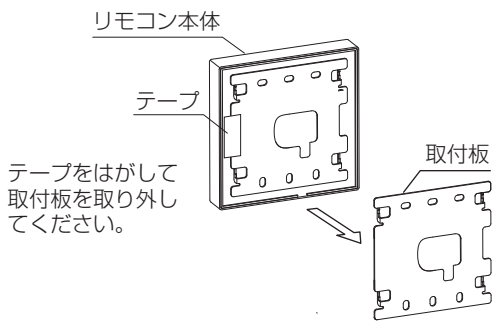
●特殊薬品を使用する場所は避けてください。美容院・クリーニング店・工場などで使用される業務用薬品（アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など）のある部屋および付近で使用されますと、電気部品を急速に腐食させます。
●ガスレンジ・こんろなどの燃焼機器の上には取り付けないでください。異常に過熱したり、油煙が内部に入ったりすると、電気部品が故障します。
●直射日光の当たる場所は避けてください。
●水しぶきや水滴がかかる場所は避けてください。
以上を守りませんと、リモコンが破損したり、機器が作動しないことがあります。

4　取付準備工事

●リモコンケーブルは、2芯のケーブル線で別売の専用リモコンケーブルを使用してください。
市販の電線を使用する場合は、断面積が0.5mm²以上の電線を使用してください。



●リモコン本体裏面に貼り付けてあるテープをはがして、取付板をリモコンから、取り外してください。



ー裏面に続きますー

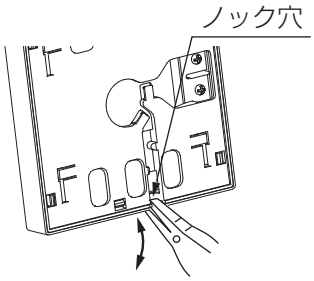
5 リモコンの取付

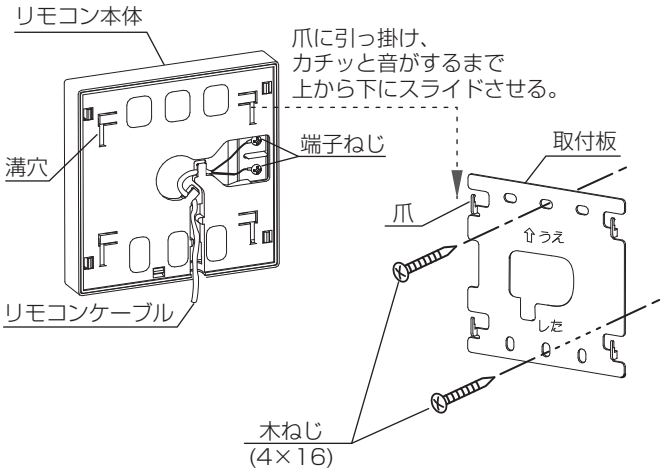
⚠ 注意

●取付板のビス止めは必ず手締めで行い、取付板が変形しないように締め付けてください。
電気ドライバー・インパクトドライバー等は使用しないでください。

(A) 露出配線の場合

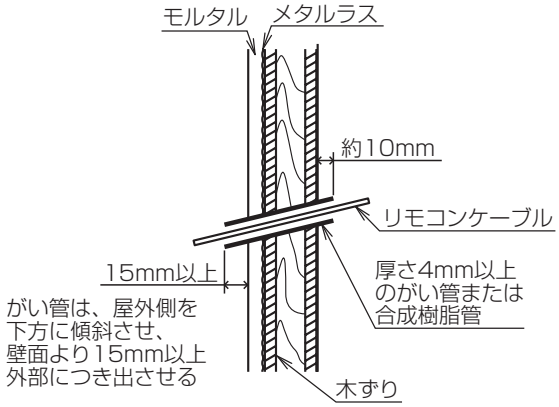
(1) 付属の取付板の爪を上向き（下図を参照）にして付属の木ねじ4×16（2本）で壁に強固に取り付けてください。
(2) リモコン本体裏面下部のノック穴を下図のようにラジオペンチ等で折り、取り除いてください。
(3) リモコンケーブルをリモコン本体裏面に下図のように通し、端子ねじ（2箇所）にビス止めしてください。
(4) 取付板の爪（4箇所）にリモコン本体裏の溝穴を合わせてはめ込み、リモコン本体を取り付けてください。
(注) カチッと音がするまではめてください。





⚠ 注意

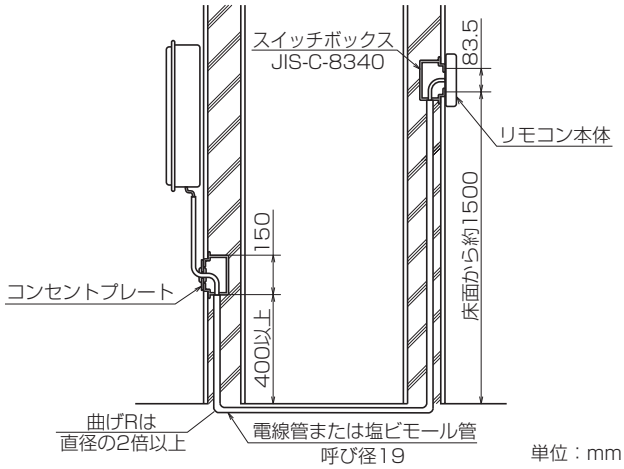
●メタルラス張り壁面を貫通して施設する場合は、下図のようにしてください。



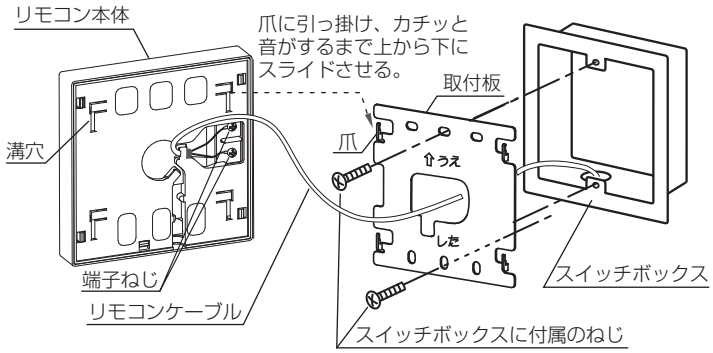
●リモコンケーブルは、塩ビモール管または電線管で保護してください。

(B) 壁内配線の場合

●1個用スイッチボックスを使用します。
(1) 1個用スイッチボックスを下図のように縦に取り付けてください。(2個用スイッチボックスへの取付もできます。)



(2) 付属の取付板の爪を上向き（下図参照）にしてスイッチボックスにビス止めしてください。
(3) リモコンケーブルをリモコン本体裏面に下図のように通し、端子ねじ（2箇所）にビス止めしてください。
(4) 取付板の爪（4箇所）にリモコン本体裏の溝穴を合わせてはめ込み、リモコン本体を取り付けてください。
(注) カチッと音がするまではめてください。



6 増設リモコン対応器種

⚠ 注意

●MC-126D・MC-126DZ・MC-130Vは、増設するリモコン用に使用できません。
●増設するリモコンは1台まで設置可能です。
●下記以外の組み合わせで設置しないでください。

ふろリモコン	給湯リモコン	増設リモコン
FC-126D	MC-126D	MC-126･MC-126V
FC-126V	MC-126V	MC-126･MC-126V
FC-126	MC-126	MC-126
FC-126DZ	MC-126DZ	MC-126VZ
FC-126VZ	MC-126VZ	MC-126VZ
FC-130V	MC-130V	ー

7 試点火および試運転

機器本体の取扱説明書に従って点火操作を行ってください。尚、異常のある時やおわかりにならない時は、最寄りの営業所にご連絡ください。
電話番号は、機器本体（給湯器）の取扱説明書に記載してあります。